

# 連合 徳島



JTUC-TOKUSHIMA

NO.186 (2009年3月13日)

発行人・川越敏良 編集人・小松義明

日本労働組合総連合会徳島県連合会

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35-1

徳島県労働福祉会館6F

088-655-4105 Fax 088-655-4113

E-MAIL [info@tokushima.jtuc-rengo.jp](mailto:info@tokushima.jtuc-rengo.jp)

すべての働く者の連帯で、ともに働き暮らす社会をつくろう

3月13日(金) 県公務労協春闘総決起集会 18時(自治労プラザ)

15日(日) 2009春闘ふれあいファミリーデー10時(吉野川遊園地)

当面の日程

## 生活主導型経済へのパラダイムシフト —2009春闘勝利県総決起集会—



県春闘共闘会議は3月6日(金)18時から、徳島市藍場浜公園において「2009春季生活闘争勝利 3・6 徳島県総決起集会」を開催し、各構成組織から約1,200人が参加した。

集会は、山根執行委員(女性委員会)の司会で始まり、高根会長代行の開会あいさつの後、主催者を代表して川越議長は「百年に一度の金融危機の中で迎えた厳しい春闘だが、一刻も早い景気回復の重要な処方箋は、何よりも働く者の雇用と生活を安定させ、内需の底上げにつながることだ。今政府がすべきことは、単

なる予算のバラまきではなく、雇用に重点を置いた予算改革と社会保障制度の抜本的な見直しを通じて、効率・競争優先から公正・連帯重視へと再構築すべきだ。企業は、働く者を使い捨てにせず、雇用安定のために社会的責任を果たすべきだ。経営側は『無い袖は振れない』と主張しているが、負の連鎖を断ち切るためにも賃上げは重要だ。労働組合としての社会的責任を發揮し、全ての労働者の雇用と生活安定のために、職場・地域での取り組みに全力をつくそう」とあいさつ。

続いて、仙谷由人・高井美穂代議士、仁木博文3区支部長からそれぞれにあいさつを受けた後、小松事務局長から2009春季生活闘争の方針と課題として、賃金カーブ維持分を確保した上で、ベースアップや時給引き上げ、積極的な「賃金改善」に取り組む、パート労働者等の均等待遇実現に取り組む、官公労働者の労働基本権を確立し、民主的な公務員制度を実現、原則3月内、遅くとも4



月内決着をめざす、などの具体的な取り組みを提案した。

その後、決意表明(民間大手・喜納UIゼンセン常任、民間中小・平井本部長、官公労・藤岡副会長、徳島地協・森本議長、北部地協・佐藤議長、東部地協、茨木副議長)が行われた。続いて、連合推せん議員団を紹介、議員ネット代表の庄野県議から連帯のあいさつを受けた。

その後、「雇用の創出とセーフティネットを求めるアピール」案を小畑青年委員長が読み上げ、全体の拍手で採択された。

最後に、吉田副会長の閉会あいさつ後、川越議長の音頭で団結ガンバローを三唱し、集会を閉じた。

この後、参加者は「一方的な賃下げは

許さないぞ」「賃上げで内需拡大を」などのシュプレヒコールを上げながら、新町橋-東新町-両国通り-八百屋町-元町をデモ行進した。



非常に寒い中、集会・デモ行進に参加していただいた各構成組織の組合員の皆さん、大変ご苦労様でした。